

2005-2006

製品別安全性能
比較評価一覧

チャイルドシート アセスメント

チャイルドシートは、
安全性能で選びましょう。



国土交通省



独立行政法人自動車事故対策機構

チャイルドシート安全性能試験

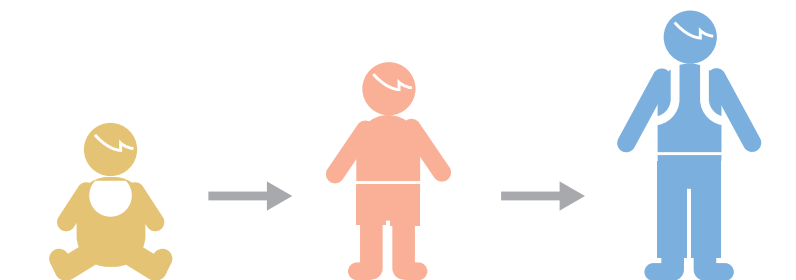
チャイルドシートアセスメントとは？

安全なチャイルドシートを選ぶために。
安全なチャイルドシートがつくられるために。

国土交通省と自動車事故対策機構は、自動車アセスメントの一環として、平成13年度から市販のチャイルドシートについて、前面衝突試験と使用性評価試験による評価を行い、その結果をチャイルドシートの安全性能として公表しています。

チャイルドシートアセスメントの目的は、信頼できる安全性能評価を公表して、より安全な製品を選択しやすい環境を整えるとともに、製作者によるより安全な製品の開発を促すことによって、安全なチャイルドシートの普及を促進しようとするものです。

チャイルドシートの利用の前に、ぜひ「チャイルドシートアセスメント」をお読みください。



適用体重10kg未満
身長が70cm以下
新生児から1歳くらい

適用体重9～18kg
身長が65～100cm
1～4歳くらい

適用体重15～36kg
身長135cm以下
4～15歳くらい

乳児用

ベビーシートと
呼ばれることもあります

幼児用

チャイルドシートと
呼ばれることもあります

学童用

ジュニアシートと
呼ばれることもあります



後ろ向き型



ベッド型



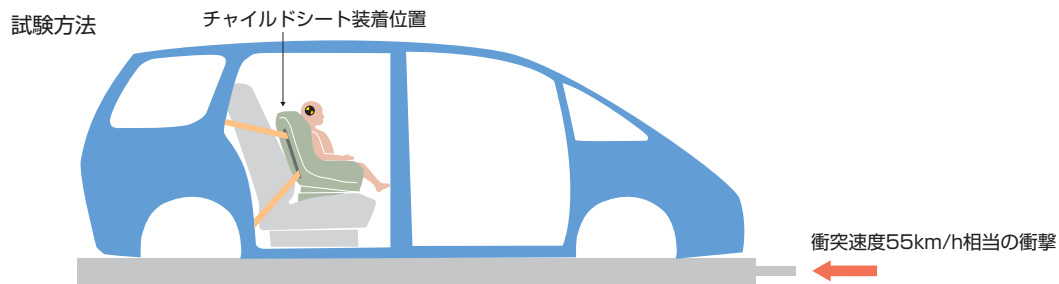
1台のチャイルドシートで、乳児用と幼児用が兼用できる「乳児・幼児兼用」もあります。



学童用は車両のシートベルトの性能によるものが大きいということでアセスメントの対象としていません。

注：対象となる体重、身長、年齢は目安です。

前面衝突試験

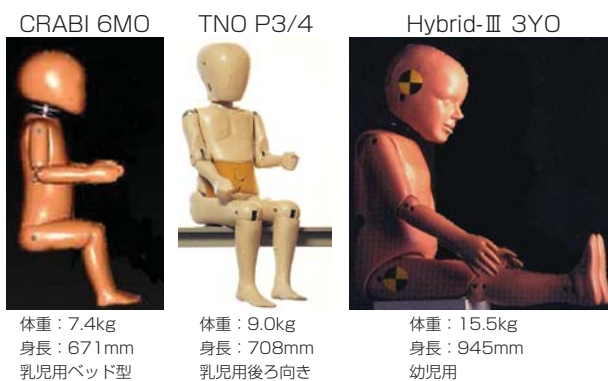


前面衝突試験は、試験用車両の2列目右側座席に取り付けたチャイルドシートに子供ダミーを乗せて、自動車の前面衝突時と同様の衝撃を試験用車両の前面に発生させます。その時、ダミーの頭部、胸部が受けた衝撃やダミー頭部の挙動などでチャイルドシートの安全性能を評価しています。



- より高い安全性能を評価する観点から国の安全基準における衝突試験の速度の1割増しの55km/hで実施しています。
- 試験用車両には、トヨタ・エスティマを使用しています。なお、別の車種で試験を行った場合は結果が異なる可能性があります。
- 平成14年度の乳児用チャイルドシート(後ろ向き)の試験において、ダミー頭部の初期姿勢の違いにより試験結果に影響を及ぼした可能性があるとの指摘により、次年度以降の試験において、ダミー頭部をチャイルドシートに接触させて試験を実施しています。
- 平成15年度の試験より、幼児用チャイルドシートの腹部圧迫の程度について評価を行うため面圧計を使用した定量的な測定を行いました。

試験に使う子供ダミー



使用性評価試験

チャイルドシートが実際に使用される際、誤った取り付けなどが多数、見受けられます。使用性評価試験は、ユーザーが自動車の座席にチャイルドシートを取り付ける際に、確実に取り付けられるように配慮されているかなどを、複数のチャイルドシートの専門家が判定しています。



前面衝突試験の評価方法

乳児用

A 衝突によるチャイルドシート取付部等の破損

- チャイルドシート取付部等の破損がない
- 軽微な破損（亀裂等）があるが、拘束が保持されている場合等
- × 強度を保持している部分の破損であって、本来の構造をとどめていない場合等

B 衝突によって胸部に生じる力（胸部合成加速度）

- 胸部合成加速度 $\leq 539\text{m/s}^2$ (55G)
 - 胸部合成加速度 $> 539\text{m/s}^2$ (55G)
- ※ 衝突時に子供の胸部に発生する加速度が大きいと、胸に傷害を受ける危険性があります。

C 衝突時のチャイルドシートのシートバックの傾き（角度）

- シートバックの傾き $\leq 60^\circ$
 - $60^\circ <$ シートバックの傾き $\leq 70^\circ$
 - × シートバックの傾き $> 70^\circ$
- ※ 衝突時にシートバックが倒れすぎると、背中以外で荷重を受け、肩等に負担がかかり、傷害を受ける危険性があります。

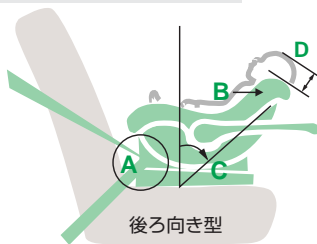
C 衝突時のチャイルドシート底面の傾き

- ベッドの底面が水平より前方に傾かない（頭部のはみ出しなし）
 - ベッドの底面が水平まで傾く（頭部のはみ出しなし）
 - × ベッドの底面が前方に傾くまたは頭部のはみ出し
- ※ 衝突時にベッド底面が前方に倒れすぎると、背中以外で荷重を受け、肩等に負担がかかり、傷害を受ける危険性があります。

D 衝突時のチャイルドシート上端面からの頭部のはみ出し

- 頭部のはみ出しがない
- 頭部のはみ出しが73mm以内
- × 頭部のはみ出しが73mmを超える

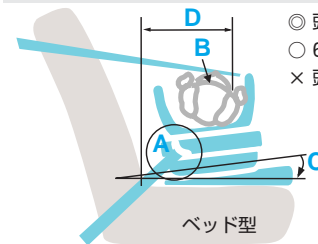
※ 衝突時に子供の頭部がチャイルドシート上端面から大きくはみ出すと、頭部に負担がかかり、傷害を受ける危険性があります。



D 衝突時の頭部の前方への移動量

- 頭部移動量 $\leq 600\text{mm}$
- $600\text{mm} <$ 頭部移動量 $\leq 750\text{mm}$
- × 頭部移動量 $> 750\text{mm}$

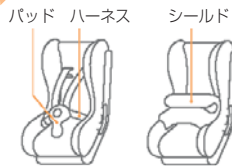
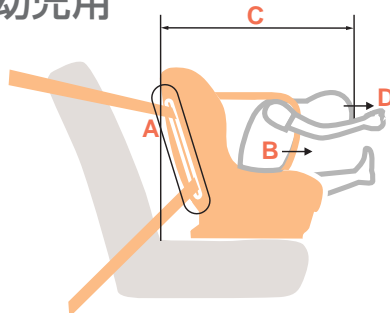
※ 衝突時に子供の頭部が前方に移動しすぎると、前席に衝突し、傷害を受ける危険性があります。



衝突時に生じたその他の事象

- × 衝突時にバックルが解離した
- × 衝突時にチャイルドシート本体が座席ベルトから放出した

幼児用



※ 幼児用の場合、ハーネスやシールド等が肩および骨盤において身体を拘束する必要があります。これらの拘束が適切でなく、身体の弱い部分（頭部、腹、股間等）を圧迫して身体を拘束している場合が該当します。また、腹部への圧迫について面圧計を用いて測定し、その値が1.38kNを超える場合は、×としています。

A 衝突によるチャイルドシート取付部等の破損

- チャイルドシート取付部等の破損がない
- 軽微な破損（亀裂等）があるが、拘束が保持されている場合等
- × 強度を保持している部分の破損であって、本来の構造をとどめていない場合等

B 衝突によって胸部に生じる力（胸部合成加速度）

- 胸部合成加速度 $\leq 588\text{m/s}^2$ (60G)
 - 胸部合成加速度 $> 588\text{m/s}^2$ (60G)
- ※ 衝突時に子供の胸部に発生する加速度が大きいと、胸に傷害を受ける危険性があります。

C 衝突時の頭部の前方への移動量

- 頭部移動量 $\leq 550\text{mm}$
 - $550\text{mm} <$ 頭部移動量 $\leq 700\text{mm}$
 - × 頭部移動量 $> 700\text{mm}$
- ※ 衝突時に子供の頭部が前方に移動しすぎると、前席に衝突し、傷害を受ける危険性があります。

D 衝突によって頭部に生じる力（頭部合成加速度）

- 頭部合成加速度 $\leq 784\text{m/s}^2$ (80G)
 - 頭部合成加速度 $> 784\text{m/s}^2$ (80G)
- ※ 衝突時に子供の頭部に発生する加速度が大きいと、頭部に傷害を受ける危険性があります。

衝突時に生じたその他の事象

- × 衝突時にバックルが解離した
- × 衝突時にチャイルドシート本体が座席ベルトから放出した
- × 衝突時において、ハーネスが腹部等身体の弱い部分を圧迫する等幼児に傷害を与えるおそれがある

評価方法

優	○が4つの場合（×が1つでもある場合は除く。）
良	○が3つ、○が1つの場合（×が1つでもある場合は除く。）
普通	「優」、「良」および「推奨せず」に該当しない場合
推奨せず	評価項目の中で1つでも×があった場合

より高い安全性能を評価する本試験の観点からは、推奨するに至らないことを表しており、使用不可という意味ではありません。試験対象とした製品は、全て安全基準に適合しており一定レベルの安全性は確保されています。

使用性評価試験の評価方法

- 評価項目 → **取扱説明書等**
- 対象 → **取扱説明書等**
- チェック項目の標準的なレベル →
- 取り付けおよび装着について説明がある。技術基準に定めるすべての記述がある。
 - 取り付けおよび装着について、図版と文章で理解ができる。
 - 助手席装着時の警告がある。技術基準に定める表記がある。
 - 取り付けおよび装着について子供の体格別に説明がされている。
 - 取り付け後の確認方法が記載されている。
- 梱包箱の表示**
- 対象となる体重、身長の内いずれかが表示(日本語)されている。技術基準に定める表示・適合基準表示がある。



装着性 (チャイルドシートへの子供の着座)

ハーネス

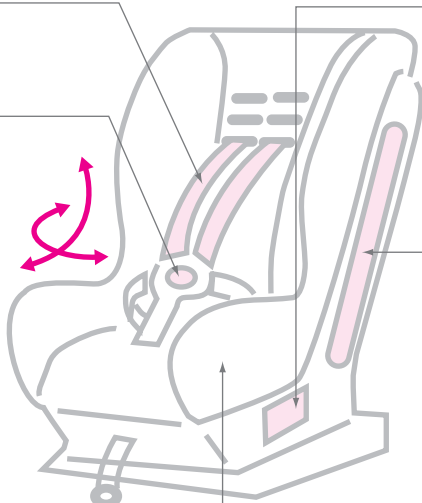
- スロット位置が分かりやすい。
- 調節が簡単かつ確実にできる。

バックル

- 簡単な操作で確実なロックができる。
- 子供が解除しにくい解除力である。(40N以上)。

着座状態

- 専門家がタミーを1分未満で適切に着座させられる。



本体表示

表示内容

- 取り付け方法の表示がある。
- 助手席装着時の警告がある。技術基準に定める注意・警告がされている。
- 表記が適切で、誤解が生じない。
- 製品の問い合わせ先が表示されている。
- 製品が適合する基準が表示(マーク等でも可)されている。

ベルトガイド

- 文字によって表示している。

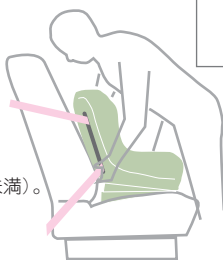
取付性 (車の座席への取り付け)

ベルト・ルーティング

- 間違えにくく、通しやすい。
- 車両側ベルトのねじれや折れが発生しない。

固定の確実性

- 一人で容易に確実な締め付けができる(体重をかけてもよい)。
- 固定金具等は使いやすく、十分な固定ができる。
- 前向き等: 取り付け後ぐらつきがない。(10kgfで丈夫を引き寄せた時、移動量が3cm以上、5cm未満)。
- 後ろ向き: シートバックの角度が45度±10度未満である(車両シートとの間に何かかましてもよい)。



本体機構



可動機構(リクライニング・回転の操作性)

- 確実にロックする。
- レバースイッチの位置が分かりやすい。

シートカバー(メンテナンスの容易性)

- シートカバーを脱着した場合、ハーネス等の取り付けが間違えにくく確実に取り付けられる。

収納部(取扱書・付属品の収納)

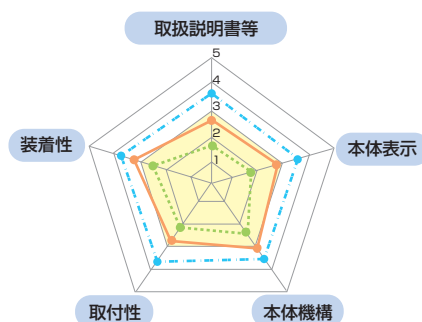
- 取扱説明書および付属品(ある場合)の収納部がある。

評価方法

内容ごとに点数をつけ、評価項目ごとの平均点を表示します。

線の色分け

- 乳児用(後ろ向き型)
- 乳児用(ベッド型)
- 幼児用



試験結果の見方

下記凡例は乳児・幼児用(兼用タイプ)です。

チャイルドシート種類



(兼用の場合はイラストが複数表示されます)

使用性の評価項目ごとの点数をレーダーチャートで表示しています。チャイルドシートの種類別に線が色分けされています。

線の色分け

- 乳児用(後ろ向き型)
- 乳児用(ベッド型)
- 幼児用

通称名

試験対象製品の写真

注3) 注4) 注1)

希望試験機種 **新基準適合品**

メーカー名 (株) ○○○○ (自) ○○○○

国土交通省型式指定番号 (0000年度実施)

前面衝突試験の評価		乳児	幼児
破損			
シートバックの傾き			
頭部のはみ出し			
頭部の前方への移動量	各項目の評価結果を◎、○、×で表示		
頭部に生じる力			
胸部に生じる力			
その他の事象 (腹部圧迫計測結果含む)			
評価			

注2) [3.3 kg]

腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値 **0.438kN**

腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図

肋骨下端

肋骨上端

(単位: kpa)

使用性評価試験の評価

取扱説明書等

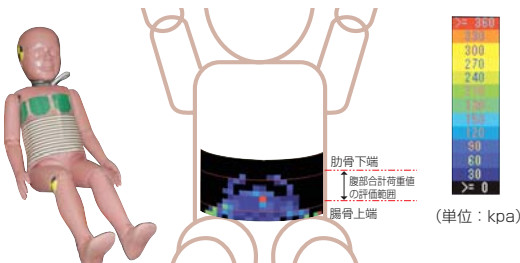
装着性

本体表示

取付性

本体機構

結果の見方



ダミー腹部への面圧計の装備

衝突時に幼児の腹部を圧迫するチャイルドシートがあるため、試験時にダミー腹部に面圧計を装着して腹部圧迫の程度を定量的に測定しています。

腹部とみなされる肋骨の下端から骨盤(腸骨部分)の上端にかかる荷重の総和を腹部合計荷重として、その値が幼児の身体に傷害を与えるとみなされる1.38kNを超える場合は「その他の事象」の評価を「×」としています。

注意ポイント

- ①試験に使用している3歳児ダミー(Hybrid-III 3Y0)は人体と同じではなく、腹部は約30mm以上凹まない構造となっています。一方、胸部は約40mm以上凹まない構造となっており、腹部の凹み量と異なっています。このため、限界まで圧迫が加わると、胸部と腹部の圧力を正しく計測できません。
- ②腹部合計荷重が最大となった時の圧力分布図については、最大荷重が発生した時間の圧力分布の状況を見やすくしたものであり、実際の面積とは異なります。

新基準適合品 注1) 適合基準の「新基準」は2000年1月に施行された国内基準に、「米国基準」はFMVSS No.213に、「欧州基準」はECE R44/03にそれぞれ適合したものであることを示します。なお、2002年1月以降、新基準に適合して型式指定を受けた製品については、新基準に適合していることを明確にするために、指定番号が4桁となっています。また、それ以前に新基準に適合した製品については順次変更されています。

kg 注2) 取扱説明用等のビデオが同封してある場合は印で表示しています。これは評価の対象とはしていません。

kg 注3) 15年度の対象製品から試験時の製品の重量を **○.○kg** で表示しています。これは評価の対象とはしていません。

注4) 希望試験機種とは、チャイルドシート製作者等からの申し出によるものです。

※各項目の評価結果は、チャイルドシートを正しい使用状態で試験を行った結果であり、正しい使用状態でない場合は、本来の機能が発揮されません。



乳児用

対象: 体重10kg未満用 進行方向に対して後ろ向きに使用

カブリオレ

欧州基準適合品

コンビ(株)

(2005年度実施)

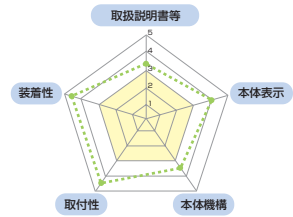


3.1kg

前面衝突試験の評価

項目	評価
破損	◎
シートバックの傾き	◎
頭部のはみ出し	◎
胸部に生じる力	◎
その他の事象	なし
評価	優

使用性評価試験の評価



オートベビープラス

欧州基準適合品

グレコ

(2004年度実施)

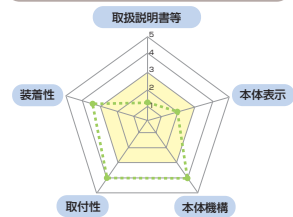


3.3kg

前面衝突試験の評価

項目	評価
破損	◎
シートバックの傾き	◎
頭部のはみ出し	◎
胸部に生じる力	○
その他の事象	なし
評価	良

使用性評価試験の評価



レーマー・ベビーセーフプラス

欧州基準適合品

(株)ヤナセ

(2003年度実施)

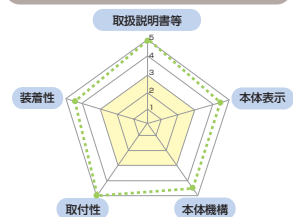


3.3kg

前面衝突試験の評価

項目	評価
破損	◎
シートバックの傾き	◎
頭部のはみ出し	◎
胸部に生じる力	◎
その他の事象	なし
評価	優

使用性評価試験の評価



PAOPA0ベビーNS

新基準適合品

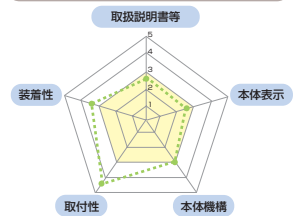
(株)東海理化電機製作所 ①C-1007/②C-157 (2002年度実施)



前面衝突試験の評価

項目	評価
破損	◎
シートバックの傾き	◎
頭部のはみ出し	◎
胸部に生じる力	◎
その他の事象	なし
評価	優

使用性評価試験の評価



エールベベ・プレコット

新基準適合品

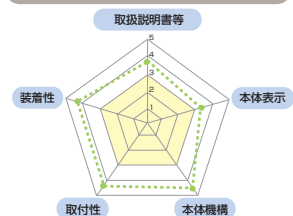
(株)カーメイト ①C-1017/②C-153 (2002年度実施)



前面衝突試験の評価

項目	評価
破損	◎
シートバックの傾き	○
頭部のはみ出し	○
胸部に生じる力	◎
その他の事象	なし
評価	普通

使用性評価試験の評価



マキシコシベビー

欧州基準適合品

コンビ(株)

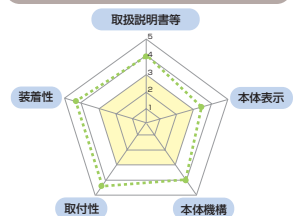
(2002年度実施)




前面衝突試験の評価

項目	評価
破損	◎
シートバックの傾き	◎
頭部のはみ出し	◎
胸部に生じる力	◎
その他の事象	なし
評価	優

使用性評価試験の評価



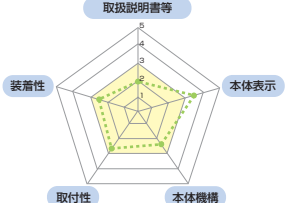
スーパーキャリー* 希望試験機種 米国基準適合品 (株)日本育児 (2002年度実施)




前面衝突試験の評価	乳児
破 損	○
シートバックの傾き	◎
頭部のはみ出し	◎
胸部に生じる力	◎
その他の事象	なし
評価	良

※座席への固定については、3点式固定により試験を実施した。

使用性評価試験の評価

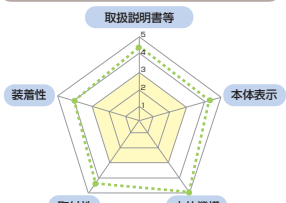


プリムベビー 新基準適合品 コンビ(株) (自)C-1010/(自)C-146 (2001年度実施)



前面衝突試験の評価	乳児
破 損	◎
シートバックの傾き	◎
頭部のはみ出し	◎
胸部に生じる力	◎
その他の事象	なし
評価	優

使用性評価試験の評価



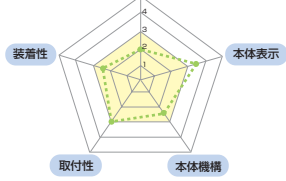
スーパーキャリー* 米国基準適合品 (株)日本育児 (2001年度実施)




前面衝突試験の評価	乳児
破 損	○
シートバックの傾き	×
頭部のはみ出し	◎
胸部に生じる力	◎
その他の事象	なし
評価	推奨せず

※座席への固定については、2点式固定により試験を実施した。

使用性評価試験の評価

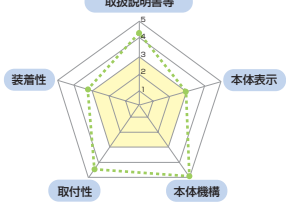


レーマー・ベビーセーフ 欧州基準適合品 (株)ウエスタンコーポレーション (2001年度実施)




前面衝突試験の評価	乳児
破 損	○
シートバックの傾き	◎
頭部のはみ出し	◎
胸部に生じる力	○
その他の事象	なし
評価	普通

使用性評価試験の評価



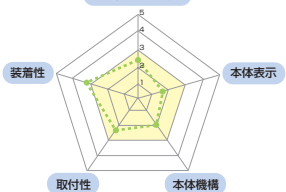
ディスカバリーベビーシート* 米国基準適合品 トライスターインターナショナル(株) (2001年度実施)



前面衝突試験の評価	乳児
破 損	○
シートバックの傾き	×
頭部のはみ出し	◎
胸部に生じる力	◎
その他の事象	なし
評価	推奨せず

※座席への固定については、2点式固定により試験を実施した。

使用性評価試験の評価





乳児用・幼児用（兼用タイプ）

Takata04-system3.0

新基準適合品

タカタ(株) (自)C-2029

(2005年度実施)



前面衝突試験の評価

	乳児	幼児
破損	◎	◎
シートバックの傾き	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—
頭部の前方への移動量	—	○
頭部に生じる力	—	◎
胸部に生じる力	◎	◎
その他の事象（腹部圧迫計測結果含む）	なし	なし
評価	優	良

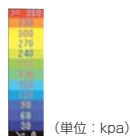
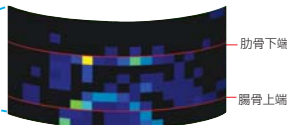
[5.8 kg]

腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値
0.318kN

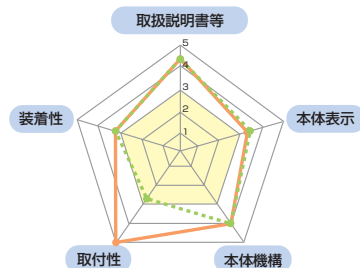


腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



(単位: kpa)

使用性評価試験の評価



レカロスタートゼロプラス

新基準適合品

レカロ(株) (自)C-2509

(2005年度実施)



前面衝突試験の評価

	乳児	幼児
破損	◎	◎
シートバックの傾き	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—
頭部の前方への移動量	—	○
頭部に生じる力	—	◎
胸部に生じる力	◎	◎
その他の事象（腹部圧迫計測結果含む）	なし	なし
評価	優	良

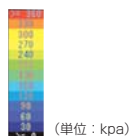
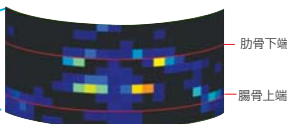
[6.3 kg]

腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値
0.438kN

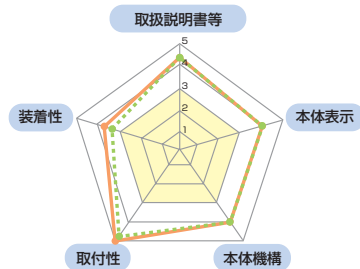


腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



(単位: kpa)

使用性評価試験の評価



takata04-neo

新基準適合品

タカタ(株) (自)C-2046

(2004年度実施)



前面衝突試験の評価

	乳児	幼児
破損	◎	◎
シートバックの傾き	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—
頭部の前方への移動量	—	○
頭部に生じる力	—	◎
胸部に生じる力	◎	◎
その他の事象（腹部圧迫計測結果含む）	なし	なし
評価	優	優

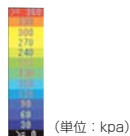
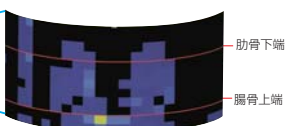
[10.0kg]

腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値
0.199kN

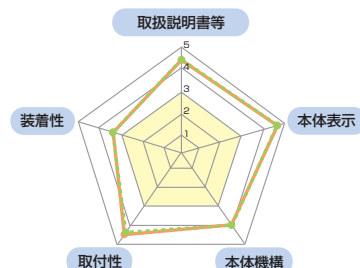


腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



(単位: kpa)

使用性評価試験の評価



トヨタ G-Child plus

新基準適合品

タカタ(株) (自)C-2047

(2004年度実施)



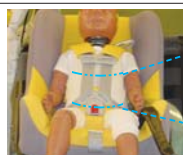
前面衝突試験の評価

	乳児	幼児
破損	◎	◎
シートバックの傾き	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—
頭部の前方への移動量	—	○
頭部に生じる力	—	◎
胸部に生じる力	◎	◎
その他の事象（腹部圧迫計測結果含む）	なし	なし
評価	優	良

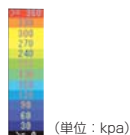
[6.7 kg]

腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値
0.224kN

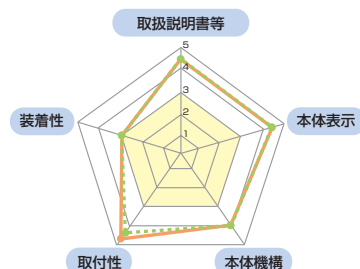


腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



(単位: kpa)

使用性評価試験の評価



乳児用・幼児用（兼用タイプ）

ピピデビューN

新基準適合品

リーマン(株) (自) C-2054

(2004年度実施)

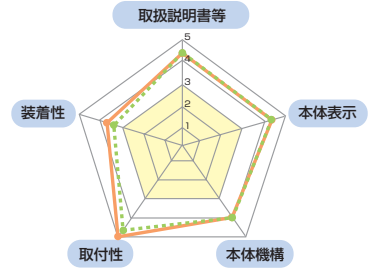


6.2kg

前面衝突試験の評価

	乳児	幼児
破損	◎	◎
シートバックの傾き	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—
頭部の前方への移動量	—	○
頭部に生じる力	—	◎
胸部に生じる力	◎	◎
その他の事象 (腹部圧迫計測結果含む)	なし	なし
評価	優	良

使用性評価試験の評価

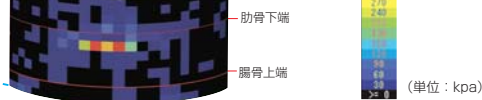


腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値
0.306kN



腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



(単位: kpa)

ミリブ6000

新基準適合品

タカタ(株) (自) C-2023

(2003年度実施)

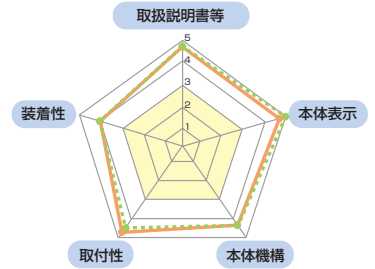


9.1kg

前面衝突試験の評価

	乳児	幼児
破損	○	◎
シートバックの傾き	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—
頭部の前方への移動量	—	◎
頭部に生じる力	—	◎
胸部に生じる力	◎	◎
その他の事象 (腹部圧迫計測結果含む)	なし	なし
評価	良	優

使用性評価試験の評価

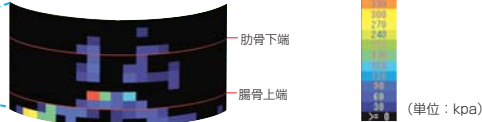


腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値
0.245kN



腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



(単位: kpa)

パミオデビューDX

希望試験機種

新基準適合品

リーマン(株) (自) C-2039

(2003年度実施)

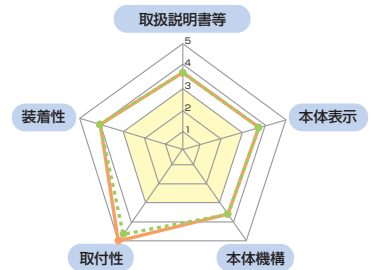


6.0kg

前面衝突試験の評価

	乳児	幼児
破損	◎	○
シートバックの傾き	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—
頭部の前方への移動量	—	○
頭部に生じる力	—	○
胸部に生じる力	◎	◎
その他の事象 (腹部圧迫計測結果含む)	なし	なし
評価	優	普通

使用性評価試験の評価



腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値
0.462kN



腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



(単位: kpa)

プリムロング

新基準適合品

コンビ(株) (自) C-2030

(2003年度実施)

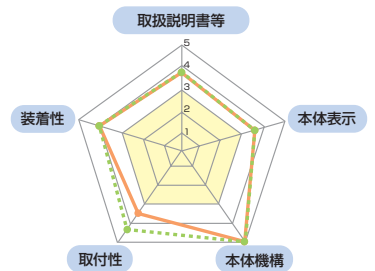


7.4kg

前面衝突試験の評価

	乳児	幼児
破損	◎	○
シートバックの傾き	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—
頭部の前方への移動量	—	○
頭部に生じる力	—	◎
胸部に生じる力	◎	◎
その他の事象 (腹部圧迫計測結果含む)	なし	なし
評価	優	普通

使用性評価試験の評価

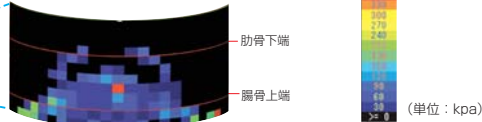


腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値
0.384kN



腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



(単位: kpa)

ミリブ3500

新基準適合品

タカタ(株) ① C-1002 / ① C-158

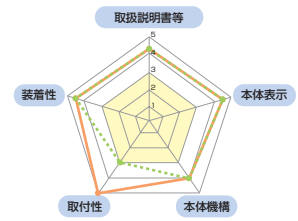
(2002年度実施)



前面衝突試験の評価

	乳児	幼児
破損	◎	◎
シートバックの傾き	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—
頭部の前方への移動量	—	○
頭部に生じる力	—	◎
胸部に生じる力	◎	◎
その他の事象	なし	なし
評価	優	良

使用性評価試験の評価

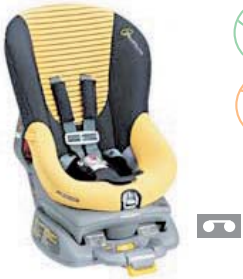


ゼウスターンEG

新基準適合品

コンビ(株) ① C-1005 / ① C-180

(2002年度実施)

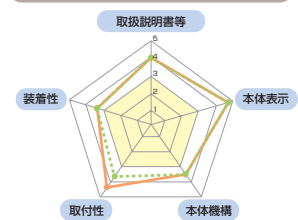


前面衝突試験の評価

	乳児	幼児
破損	◎ ※1	◎ ※1
シートバックの傾き	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—
頭部の前方への移動量	—	○
頭部に生じる力	—	◎
胸部に生じる力	○	◎
その他の事象	なし	※2
評価	良	良

※1 サポートレグに変形が発生したが、それは衝撃吸収機構の作動によるものである。
 ※2 骨盤拘束が弱く、腹部を圧迫しているが、それはバックル・ハーネスによってである。

使用性評価試験の評価



ミリブ4000EX

希望試験機種

新基準適合品

タカタ(株) ① C-2001

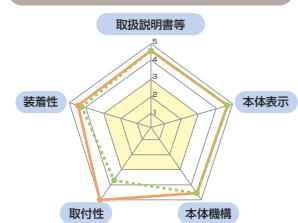
(2002年度実施)



前面衝突試験の評価

	乳児	幼児
破損	◎	◎
シートバックの傾き	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—
頭部の前方への移動量	—	○
頭部に生じる力	—	◎
胸部に生じる力	○	◎
その他の事象	なし	なし
評価	良	良

使用性評価試験の評価



エールベベ・くるっとEX

新基準適合品

(株)カーメイト ① C-2009

(2002年度実施)

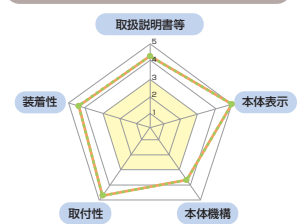


前面衝突試験の評価

	乳児	幼児
破損	◎ ※1	◎ ※1
シートバックの傾き	○	—
頭部のはみ出し	◎	—
頭部の前方への移動量	—	○
頭部に生じる力	—	◎
胸部に生じる力	—	◎
その他の事象	なし	※2
評価	普通	良

※1 サポートレグに変形が発生したが、それは衝撃吸収機構の作動によるものである。
 ※2 骨盤拘束が弱く、腹部を圧迫しているが、それはバックル・ハーネスによってである。

使用性評価試験の評価



ミリブ4000

新基準適合品

タカタ(株) ① C-1001 / ① C-100

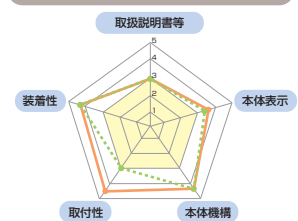
(2001年度実施)



前面衝突試験の評価

	乳児	幼児
破損	◎	◎
シートバックの傾き	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—
頭部の前方への移動量	—	○
頭部に生じる力	—	◎
胸部に生じる力	◎	◎
その他の事象	なし	なし
評価	優	良

使用性評価試験の評価



ネオシスファースト2.5S

希望試験機種 新基準適合品

コンビ(株) (自)C-1008 / (自)C-142

(2001年度実施)

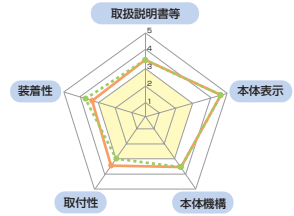


前面衝突試験の評価

	乳児	幼児
破損	○	◎
シートバックの傾き	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—
頭部の前方への移動量	—	○
頭部に生じる力	—	◎
胸部に生じる力	○	◎
その他の事象	なし	※

評価 普通 良
※骨盤拘束が弱く、腹部を圧迫しているが、それはパッド・ハーネスによってである。

使用性評価試験の評価



ピピデビュー

希望試験機種 新基準適合品

リーマン(株) (自)C-1013 / (自)C-155

(2001年度実施)

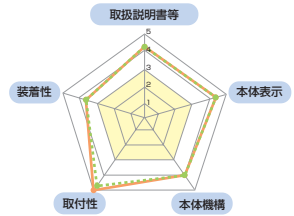


前面衝突試験の評価

	乳児	幼児
破損	◎	◎
シートバックの傾き	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—
頭部の前方への移動量	—	○
頭部に生じる力	—	◎
胸部に生じる力	◎	◎
その他の事象	なし	※

評価 優 良
※骨盤拘束が弱く、腹部を圧迫しているが、それはパッド・ハーネスによってである。

使用性評価試験の評価



ピピデビューフィットシェル

希望試験機種 新基準適合品

リーマン(株) (自)C-1014 / (自)C-156

(2001年度実施)

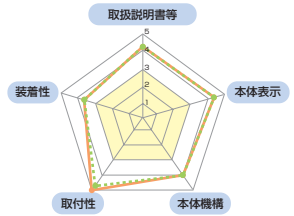


前面衝突試験の評価

	乳児	幼児
破損	◎	◎
シートバックの傾き	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—
頭部の前方への移動量	—	○
頭部に生じる力	—	◎
胸部に生じる力	◎	◎
その他の事象	なし	※

評価 優 良
※骨盤拘束が弱く、腹部を圧迫しているが、それはパッド・ハーネスによってである。

使用性評価試験の評価



乳児用・幼児用(兼用タイプ)

(ベッド型含む)



マシュマロJターンネオサーモ

新基準適合品

アップリカ葛西(株) (自)C-2060

(2005年度実施)

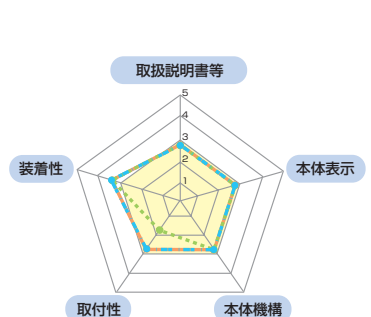


前面衝突試験の評価

	乳児	乳児 (ベッド型)	幼児
破損	◎	◎	◎
シートバックの傾き	◎	—	—
底面の傾き	—	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—	—
頭部の前方への移動量	—	◎	○
頭部に生じる力	—	—	○
胸部に生じる力	◎	○	◎
その他の事象 (腹部圧迫計測結果含む)	なし	なし	×*

評価 優 良 推奨せず
※腹部を圧迫し、幼児の身体に傷害を与える恐れがあった。

使用性評価試験の評価

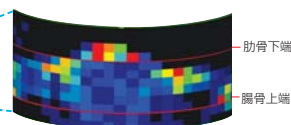


腹部圧迫の計測結果

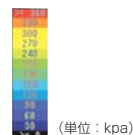
腹部合計荷重値
1.413kN



腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



肋骨下端
 肋骨上端



マシュマロベッドWサーモ

新基準適合品

アップリカ葛西(株)

自 C-2508

(2005年度実施)

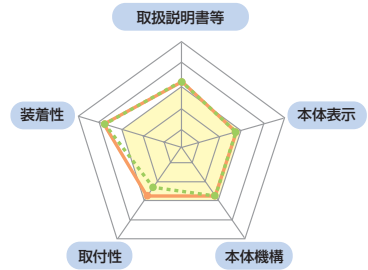


14.2kg

前面衝突試験の評価

	乳児	乳児 (ベッド型)	幼児
破損	◎	◎	◎
シートバックの傾き	◎	—	—
底面の傾き	—	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—	—
頭部の前方への移動量	—	◎	○
頭部に生じる力	—	—	◎
胸部に生じる力	◎	○	◎
その他の事象 (腹部圧迫計測結果含む)	なし	なし	なし
評価	優	良	良

使用性評価試験の評価

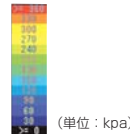


腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値
1.260kN



腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



(単位: kPa)

ニューボーンベッドワイド&ロング

新基準適合品

アップリカ葛西(株)

自 C-2512

(2005年度実施)



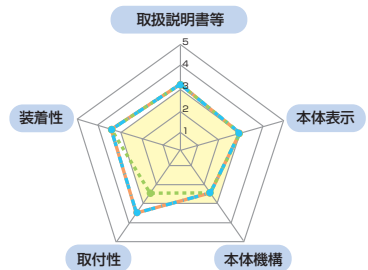
14.2kg

前面衝突試験の評価

	乳児	乳児 (ベッド型)	幼児
破損	○*	◎*	○*
シートバックの傾き	◎	—	—
底面の傾き	—	×	—
頭部のはみ出し	◎	—	—
頭部の前方への移動量	—	◎	○
頭部に生じる力	—	—	◎
胸部に生じる力	○	○	◎
その他の事象 (腹部圧迫計測結果含む)	なし	なし	なし
評価	普通	推奨せず	普通

*ベルトガイド周辺の樹脂カバーに割れが発生したが、それは衝撃吸収構造の作動によるものである。

使用性評価試験の評価

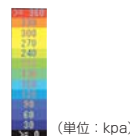


腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値
1.016kN



腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



(単位: kPa)

マシュマロJターンサーモ

新基準適合品

アップリカ葛西(株)

自 C-2038

(2004年度実施)

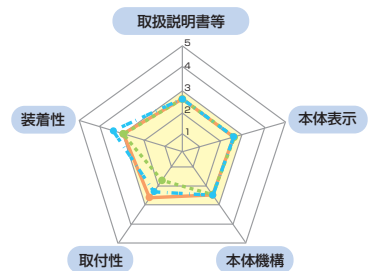


14.2kg

前面衝突試験の評価

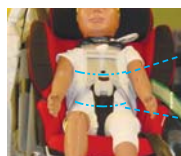
	乳児	乳児 (ベッド型)	幼児
破損	◎	◎	◎
シートバックの傾き	◎	—	—
底面の傾き	—	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—	—
頭部の前方への移動量	—	◎	○
頭部に生じる力	—	—	○
胸部に生じる力	◎	○	◎
その他の事象 (腹部圧迫計測結果含む)	なし	なし	なし
評価	優	良	普通

使用性評価試験の評価

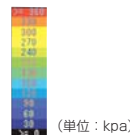
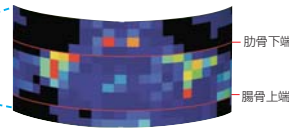


腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値
1.204kN



腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



(単位: kPa)

マシュマロJフィックスサーモ

新基準適合品

アップリカ葛西(株)

自 C-2011

(2002年度実施)

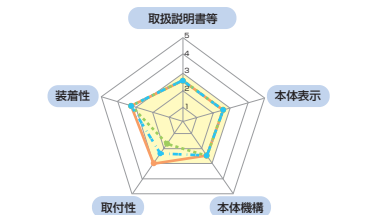


前面衝突試験の評価

	乳児	乳児 (ベッド型)	幼児
破損	◎	◎	◎
シートバックの傾き	◎	—	—
底面の傾き	—	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—	—
頭部の前方への移動量	—	◎	○
頭部に生じる力	—	—	◎
胸部に生じる力	◎	○	◎
その他の事象	なし	なし	※
評価	優	良	良

※骨盤拘束が弱く、腹部を圧迫しているが、それはパッド・ハーネスによってである。

使用性評価試験の評価





幼児用

対象：体重9～18kg以下用 進行方向に対して前向きに使用

マシュマロエアークラッシュII

新基準適合品

アップリカ葛西(株) (自) C-2502

(2005年度実施)



4.3kg

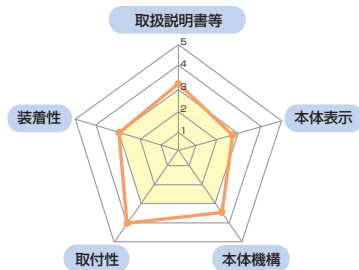
前面衝突試験の評価

	幼児
破損	◎
頭部の前方への移動量	○
頭部に生じる力	◎
胸部に生じる力	◎
その他の事象 (腹部圧迫計測結果含む)	計測範囲外

評価

計測範囲外の事象があったため
正しく評価できず*

使用性評価試験の評価



腹部圧迫の計測結果

※衝突試験時、体が飛び出すことを防ぐ拘束装置がダミー胸部と腹部に計測範囲を超える大きな変形を生じさせて、腹部への圧力について正確に計測できなかった。

エールベベ・さらっと3ステップ

新基準適合品

(株)カーメイト (自) C-2055

(2005年度実施)



4.8kg

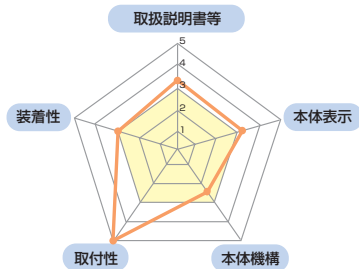
前面衝突試験の評価

	幼児
破損	◎
頭部の前方への移動量	○
頭部に生じる力	◎
胸部に生じる力	◎
その他の事象 (腹部圧迫計測結果含む)	計測範囲外

評価

計測範囲外の事象があったため
正しく評価できず*

使用性評価試験の評価



腹部圧迫の計測結果

※衝突試験時、体が飛び出すことを防ぐ拘束装置がダミー胸部と腹部に計測範囲を超える大きな変形を生じさせて、腹部への圧力について正確に計測できなかった。

ブオンキッズEG

新基準適合品

コンビ(株) (自) C-2064

(2005年度実施)



16.8kg

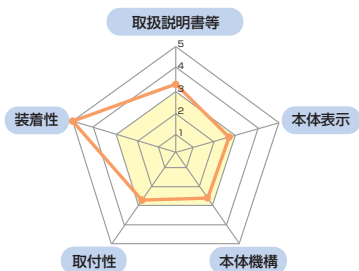
前面衝突試験の評価

	幼児
破損	○
頭部の前方への移動量	○
頭部に生じる力	◎
胸部に生じる力	◎
その他の事象 (腹部圧迫計測結果含む)	なし

評価

普通

使用性評価試験の評価

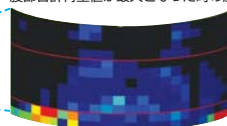


腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値
0.304kN



腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



肋骨下端

肋骨上端



(単位：kPa)

パワーベスト

新基準適合品

エムズジントック(株) (自) C-2026

(2004年度実施)



0.3kg

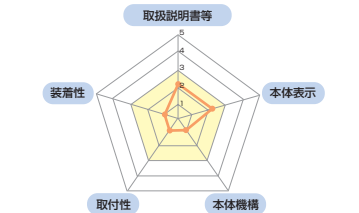
前面衝突試験の評価

	幼児
破損	◎
頭部の前方への移動量	○
頭部に生じる力	◎
胸部に生じる力	◎
その他の事象	*

評価

※衝突試験時にダミーが大きく前屈し、面圧計がダミー腹部に挟まれる現象により大きな圧力が測定された。この圧力と拘束装置による腹部圧迫の圧力を明確に区分できず、腹部圧迫の程度を評価できないため、全体評価は行わないこととした。

使用性評価試験の評価



マシュマロジュニアエア-8サポート/インパクトシールド

新基準適合品

アップリカ葛西(株)

自 C-2048

(2004年度実施)

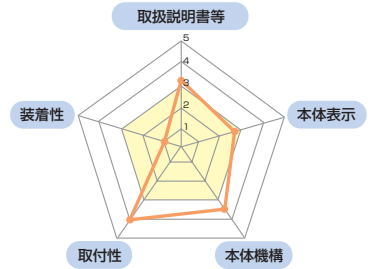


4.2 kg

前面衝突試験の評価

項目	評価
破損	◎
頭部の前方への移動量	◎
頭部に生じる力	◎
胸部に生じる力	◎
その他の事象 (腹部圧迫計測結果含む)	計測範囲外
評価	計測範囲外の事象があったため 正しく評価できず**

使用性評価試験の評価



腹部圧迫の計測結果

※衝突試験時、体が飛び出すことを防ぐ拘束装置がダミー胸部と腹部に計測範囲を超える大きな変形を生じさせて、腹部への圧力について正確に計測できなかった。

平成16年度評価では、腹部圧迫の計測の結果、その他の事象の評価を「×」とし全体評価を「推奨せず」としておりましたが、平成17年度評価において上記事象が判明したため、「計測範囲外の事象があったため正しく評価できず」に訂正しております。

トラベルベスト

米国基準適合品

(株)日本育児

(2004年度実施)



1.2 kg

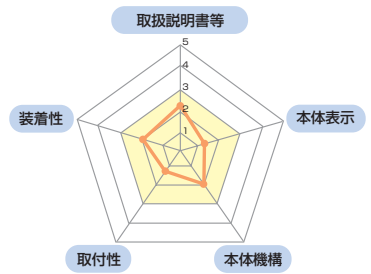
前面衝突試験の評価

項目	評価
破損	× ^{※1}
頭部の前方への移動量	○
頭部に生じる力	◎
胸部に生じる力	◎
その他の事象 (腹部圧迫計測結果含む)	× ^{※2}
評価	推奨せず

※1) シートベルトの切り裂きが発生した。2) 背中部の強度保持板が破損した。

※2) 腹部を圧迫し、幼児の身体に傷害を与える恐れがあった。

使用性評価試験の評価



腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値
1.877kN

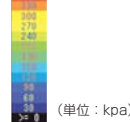


腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



肋骨下端

肋骨上端



(単位: kPa)

ハイバックブースター

米国基準適合品

(株)日本育児

(2004年度実施)

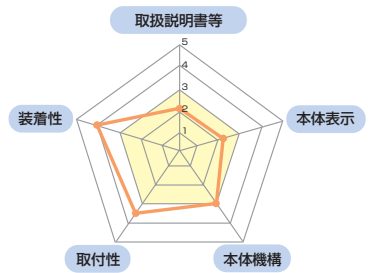


3.5 kg

前面衝突試験の評価

項目	評価
破損	◎
頭部の前方への移動量	○
頭部に生じる力	◎
胸部に生じる力	◎
その他の事象 (腹部圧迫計測結果含む)	なし
評価	良

使用性評価試験の評価



腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値
0.634kN

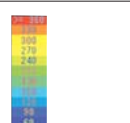


腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



肋骨下端

肋骨上端



(単位: kPa)

レーマー・キングTSプラス

希望試験機種

欧州基準適合品

(株)ヤナセ

(2004年度実施)

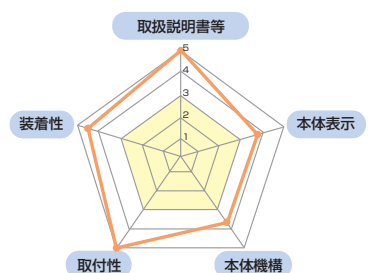


10.1 kg

前面衝突試験の評価

項目	評価
破損	◎
頭部の前方への移動量	○
頭部に生じる力	◎
胸部に生じる力	○
その他の事象	なし
評価	普通

使用性評価試験の評価



腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値
0.141kN

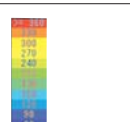


腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



肋骨下端

肋骨上端



(単位: kPa)

マキシコシチャイルド

欧州基準適合品

コンビ(株)

(2003年度実施)



6.8kg

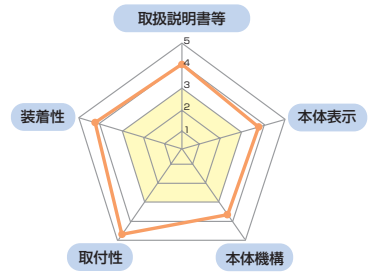
前面衝突試験の評価

破損	◎
頭部の前方への移動量	○
頭部に生じる力	○
胸部に生じる力	◎
その他の事象 (腹部圧迫計測結果含む)	なし

評価

普通

使用性評価試験の評価

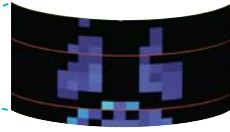


腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値
0.175kN

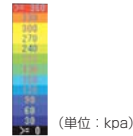


腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



肋骨下端

肋骨上端



(単位: kpa)

マシュマロフィッツVシールド

新基準適合品

アプリカ葛西(株) (自) C-2020

(2003年度実施)



5.7kg

前面衝突試験の評価

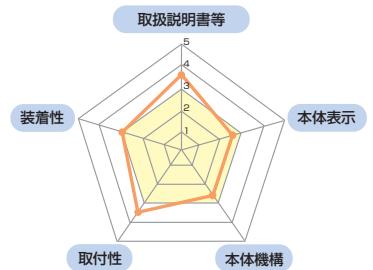
破損	× ※
頭部の前方への移動量	○
頭部に生じる力	◎
胸部に生じる力	◎
その他の事象 (腹部圧迫計測結果含む)	なし

評価

推奨せず

※幼児の身体に傷害を与える恐れのあるフレームの破損が発生した。

使用性評価試験の評価



腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値
0.403kN

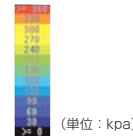


腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



肋骨下端

肋骨上端



(単位: kpa)

ハイパーベスト

新基準適合品

全国防災事業協業組合 (自) C-2014

(2003年度実施)



0.4kg

前面衝突試験の評価

破損	◎ ※
頭部の前方への移動量	◎
頭部に生じる力	◎
胸部に生じる力	◎
その他の事象 (腹部圧迫計測結果含む)	×

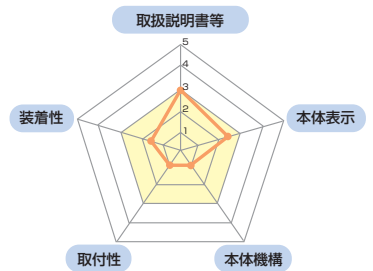
評価

◎

チャイルドシートの腰ベルトが、取扱説明書の使用方法通りにはダミーの腰骨部位を充分におおう位置に装着できないものであったため、各項目の結果のみを記載し、全体の評価は行わないこととした。

※腰ベルト位置決めテープが破損したが、それは衝撃吸収機構の作動によるものである。

使用性評価試験の評価



腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値
2.328kN

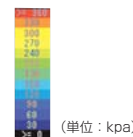


腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



肋骨下端

肋骨上端



(単位: kpa)

ファンキッズ

新基準適合品

(株) ミクニ (自) C-1006 / (自) C-174

(2002年度実施)



前面衝突試験の評価

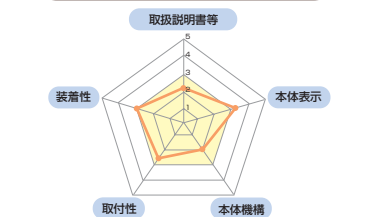
破損	○
頭部の前方への移動量	◎
頭部に生じる力	◎
胸部に生じる力	◎
その他の事象	*

評価

良

※骨盤拘束が弱く、腹部を圧迫しているが、それはシールドによってである。

使用性評価試験の評価



プリムキッズ

新基準適合品

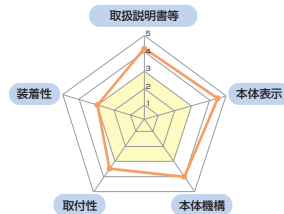
コンビ(株) (自)C-1011 / (自)C-147

(2002年度実施)



前面衝突試験の評価	幼児
破損	◎
頭部の前方への移動量	○
頭部に生じる力	◎
胸部に生じる力	◎
その他の事象	なし
評価	良

使用性評価試験の評価



レーマー・ロード

欧州基準適合品

(株)ヤナセ

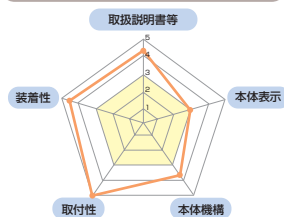
(2002年度実施)



前面衝突試験の評価	幼児
破損	◎ *
頭部の前方への移動量	○
頭部に生じる力	◎
胸部に生じる力	◎
その他の事象	なし
評価	良

※肩用パッドの破損が発生したが、それは衝撃吸収機構の作動によるものである。

使用性評価試験の評価



PAOPAOチャイルドフォービー

新基準適合品

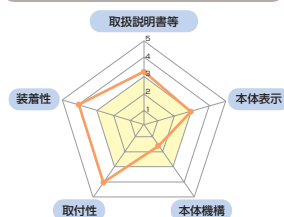
(株)東海理化電機製作所 (自)C-1015 / (自)C-104 (2001年度実施)



前面衝突試験の評価	幼児
破損	◎ *
頭部の前方への移動量	○
頭部に生じる力	◎
胸部に生じる力	◎
その他の事象	なし
評価	良

※サポートレックに変形が発生したが、それは衝撃吸収機構の作動によるものである。

使用性評価試験の評価



エールベベ・プレシールド

希望試験機種

新基準適合品

(株)カーメイト (自)C-1016 / (自)C-150

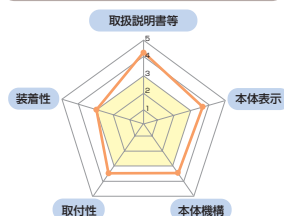
(2001年度実施)



前面衝突試験の評価	幼児
破損	○
頭部の前方への移動量	○
頭部に生じる力	◎
胸部に生じる力	◎
その他の事象	*
評価	普通

※骨盤拘束が弱く、腹部を圧迫しているが、それはシールドによってである。

使用性評価試験の評価



ピジョンコンコルドフィックスマックス

欧州基準適合品

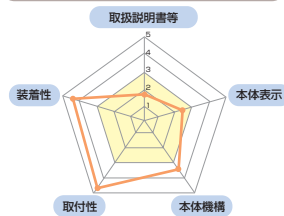
ピジョン(株)

(2001年度実施)



前面衝突試験の評価	幼児
破損	◎
頭部の前方への移動量	○
頭部に生じる力	◎
胸部に生じる力	◎
その他の事象	なし
評価	良

使用性評価試験の評価



レーマー・キング

欧州基準適合品

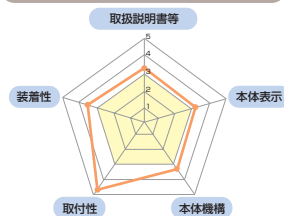
(株)ウエスタンコーポレーション

(2001年度実施)



前面衝突試験の評価	幼児
破損	◎
頭部の前方への移動量	○
頭部に生じる力	◎
胸部に生じる力	◎
その他の事象	なし
評価	良

使用性評価試験の評価



チャイルドシート着用の効果

チャイルドシートの着用、非着用の事故データを見ると、着用時と非着用時とは致死率、死亡重傷率に大きな差があることがわかります。

平成16年中の6歳未満の幼児の自動車同乗中の交通事故発生状況

着用の有無	被害状況	被害者数			被害率		
		死者数	重傷者数	軽傷者数	計	致死率	死亡重傷率
チャイルドシート着用		3人	42人	7,503人	7,548人	0.04%	0.60%
チャイルドシート非着用		12人	58人	4,847人	4,917人	0.24%	1.42%

(注) ・大破事故による被害を除く。着用・非着用不明は除く。
 ・致死率 = 死者数 ÷ 全死傷者数 × 100[%]
 ・死亡重傷率 = (死者数 + 重傷者数) ÷ 全死傷者数 × 100[%]
 ・警察庁資料より抜粋

チャイルドシートの基準

国土交通省の安全基準に適合したものには下のような型式指定マークか、型式認定マークが製品に貼付してあります。

国土交通省型式指定マーク
 新基準に適合しているもの

2000/01 ← 基準施行年月
 UNIVERSAL ← 汎用型チャイルドシート (注)
 9-36Kg ← 対象とする年少者の体重範囲

(自)

C-1234 ← チャイルドシートを示す記号
 及び国土交通大臣が告示した
 指定番号

国土交通省型式指定マーク

(自) C-123

↑ ↑
 チャイルドシート 指定番号
 を示す記号

運輸省型式認定マーク
 (~平成10年11月)

(自) C-123

↑ ↑
 チャイルドシート 認定番号
 を示す記号

(注) 車両限定型チャイルドシートの場合は、「SPECIFICVEHICLE」
 兼用型チャイルドシートの場合は、「COMPATIBLE」

また、欧州の基準(ECE R44/03)または米国の基準(FMVSS No.213)に適合したものもあります。

欧州の基準 (ECE規則 R44/03) 適合マーク

ECE R44/03 ← ECE規則番号
 及び改訂シリーズ番号
 UNIVERSAL ← 汎用型
 9-36Kg ← 体重区分

(E)

03 ← 国番号

03 ← 03 3D 1108 ← 一連番号
 ABCDEFG ← 製品名

03は規則の改訂シリーズ番号

記載例 SEMI-UNIVERSAL (準汎用型)
 VEHICLE-SPECIFIC (車両限定型)
 RESTRICTED (限定使用)

米国の基準 (FMVSS No.213) 適合マーク

This child restraint is designed for use only by children who weigh between 7.5 and 40 pound and are between 20 and 40 inches in height. } 体重区分
 3.4 Kg~18Kg
 身長区分
 51cm~102 cm

This child restraint system conforms to all applicable Federal motor vehicle safety standards. } このチャイルドシートは、FMVSSの基準に適合

This Restraint is Certified for Use in Motor Vehicles and Aircraft.

↑
 自動車、もしくは航空機に使用するものに限る

自動車との適合性

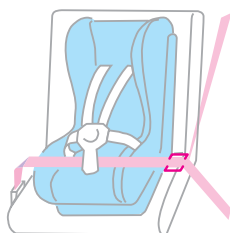
すべてのチャイルドシートがすべての自動車に取り付けられるわけではありません。

チャイルドシートメーカーなどから出されている「車種別チャイルドシート適合表」などを参考に取り付けられるかどうかを確認して、自分の自動車に適合したチャイルドシートを選びましょう。

取り付け方法

シートの取り付け方法は、製品によって異なるため、それぞれの取扱説明書に従って取り付けてください。

市販されている多くのチャイルドシートは、自動車のシートベルトを用いて座席に固定する方式が主流であり、シートベルトの通し方により2点固定式と3点固定式があります。



2点固定式



3点固定式

ELR式(緊急ロック式巻き取り装置)シートベルト

通常はシートベルトを自由に引き出せますが、急ブレーキなどの衝撃を感じた時のみシートベルトがロックする機能(ELR機能)を備えたものです。

チャイルドシート固定機能付シートベルト(ALR付ELR式シートベルト)

通常はELR機能ですが、シートベルトをすべて引き出せばALR機能(自動ロック付巻き取り装置)に切り替わり、巻き込み方向にのみ動きますが引き出せなくなります。チャイルドシートの取り付けに緩みが生じにくく、取り付けが比較的容易です。

また、自動車によっては、座席の背もたれ部分を引き出すとチャイルドシートになる座席(チャイルドシート内蔵シート)や、シートベルトを使わずチャイルドシートを固定できる座席(共通取付具方式シート)が採用されています。

チャイルドシート内蔵シート

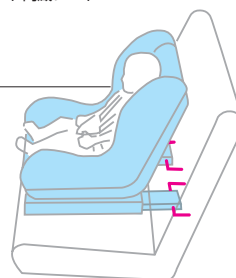
通常は座席(後席が一般的)の中に折りたたんで収納されていますが、子供を乗車させるときには引き出して使用することができる子供用の座席です。



チャイルドシート内蔵シート

共通取付具方式(ISOFIX対応)シート

ISOFIX対応のチャイルドシート取付具が座面の奥に付いている座席です。車種毎に指定されたISOFIX対応チャイルドシートを組み合わせで使用します。



共通取付具方式(ISOFIX対応)シート

取り付け時の注意点

①後部座席に取り付ける

助手席にエアバッグが装備されている場合に助手席に後ろ向きチャイルドシートを取り付けることは、極めて危険ですので絶対にやめましょう。

②しっかりと固定する

取扱説明書に従いしっかりと固定することが必要です。前向きのチャイルドシートの場合は、取り付けられたチャイルドシートの上部に前方向に力を加えても大きく動かないよう(約3cm以下が目安)しっかりと固定しましょう。「チャイルドシート固定機能付シートベルト」が付いている自動車の場合(後部座席の左右が多い)は、チャイルドシートを取り付けた後シートベルトをすべて引き出し、ALR機能を作動させましょう。

③着座時の火傷に注意する

炎天下での駐車時には、チャイルドシート本体、バックル、ベルトの金具部分などが熱くなり、火傷するおそれがあります。子供を着座させる際には、各部に触れて、確認した上で使用しましょう。

自動車不具合情報ホットライン

リコールの適正な実施のために自動車の不具合情報の提供を

- フリーダイヤル **0120-744-960** (9時30分～12時、13時～17時30分)
- 国土交通省ホームページ (<http://www.mlit.go.jp/RJ/>) に専用の自動車不具合情報収集コーナー
- 24時間不具合情報自動受付 **03-3580-4434**

このホットラインでは、自動車の設計または製造の過程に起因すると思われる故障、事故、車両火災などにかかる自動車の不具合情報を専用に受け付けます。なお、商品性、金銭上の問題などは対象外です。

チャイルドシートアセスメント

このパンフレットに対するご意見、ご要望などについては、下記にご連絡ください。
パンフレットの内容はインターネットでもご覧になれます。

国土交通省 自動車交通局
技術安全部 審査課

〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3
TEL 03-5253-8111(代表) FAX 03-5253-1640

国土交通省のホームページ

<http://www.mlit.go.jp>

独立行政法人 自動車事故対策機構
企画部 安全情報グループ

〒102-0083 東京都千代田区麴町6-1-25
TEL 03-5276-4455 FAX 03-3239-9336

独立行政法人 自動車事故対策機構のホームページ

<http://www.nasva.go.jp>

監修：国土交通省

発行：独立行政法人 自動車事故対策機構© ※無断転載を禁ず

自動車アセスメント

安全な車選びのために自動車アセスメントについて
もご覧下さい。上記国土交通省及び独立行政法人 自
動車事故対策機構のホームページでご覧になれます。



自動車事故対策機構は、独立行政法人として平成15年10月1日に設立され、自動車事故の発生の防止と、被害者保護の増進に向けて幅広い業務を推進しています。